

今宮第一方面月番委員会

三月二十五日午後二時事務所々
在の今宮第三小學校講堂に於て第
六回月番委員会を開催す。

九桮委員は東口一家に對する二年
有餘のあらゆる世話の筋途を、妹
尾委員は中老夫婦の醫療救護につ
いての苦心談、鈴木委員は妾腹の
子供三名をめぐる扶助と認知につ
いての交渉顛末をそれ〴〵報告、
九桮委員は今一件かつては南区内
に於て誰知らぬものもない名門の
子が釜ヶ崎スラム街にさまようう
らぶれの姿を報告して哀愁をそゝ
り、大島委員の低能の私生子分媿
の報告、關岡委員のガス心中未遂
一家の後聞等々、

報告終了後岩井常務、中田常務
は取扱報告事項について感想あ
り、終つて仲島今宮署長は、方面
委員の増置事務擔當者の増員、方
面委員の優遇等について關係行政

官として率直な希望を披瀝し。松
村區長の挨拶の後小菅府主事は、
仲島署長の言に對し夫々考慮中な
る旨を述べ五時閉會す。

十三方面月番委員会

三月二十七日午後二時春寒とい
ふ言葉が打つてつけの様な底冷え
のする日、十三小學校講堂で開催
された、府市區等〇關係者を始め
とし常務、委員、事務擔當者、有
志等々會する者約百名。

入谷委員は身元を偽る産婦の保
護と題し不義の子の處置に窮し虚
構の事實を述べて濟生會病院へ入
院したる中年女の保護經過につい
て、砂田委員は家出せる人妻を苦
心の結果連れ戻り圓滿なる家庭生
活を営ましむるに至つた報告、岸
本委員は貰ひ子業者の手を通じて
殆んど遺棄の状態にあつた嬰兒を
救護の上實父に引渡したといふ、
現代世相の一斷面を物語り、最後